



伊勢鳥羽志摩『メディターテイメント』 観光地プロジェクト

株式会社アーリー・バード 代表取締役 さんだ やすひさ
三田 泰久

■取り組みの名称

- 伊勢鳥羽志摩『メディターテイメント』観光地プロジェクト

※メディターテイメント＝メディカル＋
エンターテイメントの造語

■推進主体・推進体制

- 『伊勢鳥羽志摩健康サービス推進協議会』及びその傘下の『伊勢鳥羽志摩交流フロントコンソーシアム』

伊勢鳥羽志摩健康サービス推進協議会
<http://www.kensuikyoo.com/>

■事業費

- 当事業に対して、平成18年度の経費は1,580万円、その主な内訳は以下の通りである。
 - ・ 着地型旅行代理店による受入態勢構築に約300万円
 - ・ モニターツアー参加者募集の販売促進費に約130万円
 - ・ 地域観光事業者に対する教育研修費に約250万円
 - ・ 透析施設と宿泊施設とを同時に予約できるシステム（パリハク）構築費に約1,000万円

■補助金・助成金

- 経済産業省より、伊勢鳥羽志摩交流フロントコンソーシアムが平成18年度「サービス産業創出支援事業」（観光・集客交流サービス）の委託を受けた。

■取り組みのきっかけ

- 三重県では、平成14年よりメディカルパレープロジェクト構想が始まっている。同構想は、県

内で医療、健康、福祉の3分野の事業を集積的に発展させることを目指して始まっており、集積拠点として、医療分野は伊賀地域、福祉分野は中勢地域が集積地候補となっていた。しかし、健康分野に関しては集積地候補がなかった。そこで、伊勢鳥羽志摩地域が健康の集積地として名乗りを上げ、平成16年4月、その推進主体として伊勢鳥羽志摩健康サービス推進協議会（以下「健推協」）が発足した。

- 伊勢鳥羽志摩を健康分野の集積地とすべく、健推協は活動を開始した。戦後最初に国立公園として認定された伊勢志摩国立公園という「観光」のメッカと、「健康」の集積地を融合させるキーワードとして、いつしか『健康ツーリズム』という言葉を意識するようになっていた。
- 伊勢鳥羽志摩は、根強い人気を誇る観光地であるが、伊勢神宮への依存度が高く、新しい観光価値を見出せてない中、来訪者数は減少傾向にあった。そのような状況下において新たな付加価値として健康ツーリズムに注目した。病気を持つ方に優しい観光地になることができれば、その予備軍または健康な方にも優しい観光地になることができる。つまり、万人に優しい観光地に繋がる取り組みになると考えた次第である。
- 健推協が健康ツーリズムに取り組む最初のきっかけとして、透析を選んだ。その理由は、健推協会員に透析者と、透析に詳しい専門家がおり、透析者が旅行時に抱える問題点について詳しく知っていたことである。透析者は基本的に2日に1回、約4時間の人工透析を受けなければならない。1泊2日であれば可能であるが、2泊3日以上の場合には旅先で人工透析を受けなければならない。しかし、透析者にとっては透析

施設を変える不安があるため、出張など不可避免な場合を除き、観光目的の旅行では1泊2日の範囲に抑えているのが現状である。透析者の方々に、透析施設を変える不安なく、また透析者向けに配慮されたコース設計と食事を伊勢烏羽志摩で楽しんで頂きたいと考えたのが、健推協が健康ツーリズムとして旅行透析ツアーに取り組むことになったきっかけである。

- 平成17年度に経済産業省のサービス産業創出支援事業の調査事業の委託を受け、翌18年度には同事業の基盤強化事業の委託を受けることによって、取り組みは本格化した。

■事業理念と基本方針

(事業の理念)

- 伊勢烏羽志摩に健康ツーリズムという新しい価値を付加し、地域の基幹産業である観光の活性化を通じて、地域経済の活性化に貢献する。

(事業の基本方針)

- 伊勢烏羽志摩の既存の健康ツーリズム（旅行透析ツアー、ウェルネスの旅、グルメディカルツアー、ハイテク温泉健康塾など）の連携を図ることにより、健康ツーリズムを伊勢烏羽志摩の

新たな付加価値とする。

- 既存の健康ツーリズムに加え、新たなツアーメニューを開発することによって、伊勢烏羽志摩における健康ツーリズムブランドを一層強化する。

■事業の展開

プログラム-1：『旅行透析ツアー』

(特徴)

- 食事等に関して透析者対応できるホテル・旅館と、透析施設をワンストップで手配
- ツアー期間中の全食事メニューのカロリー、栄養価などを透析者に合わせて設計
- 透析者の体調に配慮し、ゆったりとしたコース設計
- 透析者が人工透析を受けている間の同伴者のためのオプションツアー

(ターゲットとした年齢層)

- 年齢でターゲット設定しているわけではないが、『旅行可能な透析者』がターゲットとなるので、結果的に50歳代、60歳代がターゲットとなっている。

スピリチュアル<神秘的> ココロとカラダを元気にする旅

ココロで感じる旅プラン 3日間

●出発日：1月10日(水)

スケジュール

1 平治山田駅 13:30出発
 伊勢烏羽志摩 伊勢神宮・外宮・お神楽(約50分) 二宿泊地 17:00到着
 二宿泊地 9:30出発
 二見夫婦岩・興玉神社参拝(約40分)
 二軒茶屋麦酒蔵(参食:約70分) 人工透析クリニックへ移動
 人工透析(60分) 人工透析クリニック(人工透析) 12:30入室-17:00までの見込み
 同行者の方(観光) 人工透析クリニック(約40分) 伊勢神宮・外宮参拝・月読宮参拝・神田など
 伊勢神宮参拝(約40分) 伊勢神宮参拝・月読宮参拝・神田など
 伊勢神宮参拝(約40分) 伊勢神宮参拝・月読宮参拝・神田など
 人工透析クリニック(参食) 二宿泊地 17:00到着

2 二宿泊地 9:30出発
 伊勢神宮・内宮(約60分) 五十鈴橋(参食:約120分) 二宿泊地 18:00到着
 おかげ横丁(約60分) 平治山田駅 15:00到着

●旅行代金
 1月10日(水) **53,000円** **39,000円**

●旅行代金
 1月10日(水) **53,000円** **39,000円**

人と自然の力 自然と人の匠が生んだとても嬉しい食の旅

ココロで食す旅プラン 3日間

●出発日：1月16日(火)

スケジュール

1 四日市駅 13:30出発
 真流湾めぐり(約80分) 松井真珠・売店など(約30分)
 志摩マリンランド(風方体験・ペンギンタッチ)(約105分) 二宿泊地 18:00到着

2 二宿泊地 9:00出発
 横山展望台(約60分) 志摩セントラルホテルソシアのランチバイキング(約80分) 人工透析クリニックへ移動
 人工透析(60分) 人工透析クリニック(人工透析) 12:30入室-17:00までの見込み
 同行者の方(観光) 人工透析クリニック(約40分) 安楽地灯台(約50分) パークゴルフ(約120分)
 合歓の郷(約210分)

3 二宿泊地 18:00出発
 海女小屋で昼食(約60分) 二宿泊地 18:00到着
 志摩市観光協会にてヒアリング(約60分) 二宿泊地 14:30到着

●旅行代金
 1月16日(火) **59,000円** **45,000円**

旅行透析プログラム



旅行透析モニターツアーのNHK取材風景



旅行透析モニターツアーのヒアリング風景



海女小屋での食事風景

旅行透析旅行商品リーフレット

(連携の方法)

- 地域の透析クリニックとは、透析者受け入れ、掛かり付けの透析病院との透析条件のやり取りにおいて連携
- 地域のホテル・旅館とは、透析食を提供することにおいて連携し、その準備として透析食に関する講習会などに参加頂いた

(PRの進め方)

- 透析者の全国組織である全国腎臓病協議会のネットワークを利用してPR
- 透析施設を持つ病院を通じて透析者にPR

(旅行商品化への取り組み)

- 平成19年1月にモニターツアーを実施
- 手配型旅行は随時募集中で、実績あり
- 平成20年4月6日(日)～7日(月)に1泊2日(現地透析なし、食事とコース設計の配慮のみ)の旅行透析を企画

- 秋の行楽シーズンに2泊3日型の旅行商品を企画予定

プログラム2:『ウェルネスの旅』

- 以下の『ウェルネスの旅』は、健推協が推進主体ではなく、島の旅社と三重大学が推進したものであるが、健推協のメンバーである株式会社伊勢志摩ツアーズ、株式会社アーリー・バード(いとしの旅舎)が関与しており、現在、連携を深めているので、合わせて紹介したい。

(特 徴)

- 糖尿病患者を対象としたツアー
- ツアー期間中の全食事メニューのカロリー、栄養価などを糖尿病患者に合わせて計算
- 血糖値を下げるためにウォーキングを取り入れたコース設計
- 三重大大学の管理栄養士、体育教員、医師が同行し、それぞれ食事療法、運動療法、病気に関する知識についてツアー中にセミナーを実施

(ターゲットとした年齢層)

- 当初、団塊世代を対象としていたが、徐々に対象が糖尿病患者からその予備軍、そして健康に関心の高い方へと拡大するに伴い、年齢層が低下し、30歳代から70歳代までの幅広い年齢層となった。

(連携の方法)

- ツアー募集に際しては、健推協会の株式会社伊勢志摩ツアーズが旅行代理店として連携した。
- 今後のツアー募集に関しても、健推協会の株式会社アーリー・バード（いとしの旅舎）が旅行代理店として連携する。

(PRの進め方)

- 糖尿病患者を診察する病院を通じてPR
- 企業の健康保険組合を通じてPR
- 糖尿病患者の全国組織である日本糖尿病協会を通じてPR

(旅行商品化への取り組み)

- 過去6回実施したが、三重県や三重大学の補助金を受けていた。
- 平成20年5月30日（金）～6月1日（日）の3

日間に、1泊2日、2泊3日計4コースを織り交ぜたツアーを企画し、募集中である。このツアーでは、補助金への依存をなくし、商業ベースに乗せることを目指している。

■今後の課題と展開方法

- 伊勢志摩には、上記『旅行透析』『ウェルネスの旅』以外にも、C型肝炎患者を対象とした『グルメディカルツアー』、温泉資源を利用した『ハイテク温泉健康塾』などの健康ツーリズムがある。しかし、各推進主体間の連携は希薄であった。そのいずれにも三重大学が産官学連携の一環として関与しているため、三重大学を起点として、募集旅行代理店を共通にすることによって『旅行透析』と『ウェルネスの旅』の連携が始まった。
- 各健康ツーリズムは、各対象者にとっては非常に価値の高いツアーを提供している。『旅行透析』は透析者を、『ウェルネスの旅』は糖尿病患者を、『グルメディカルツアー』はC型肝炎患者を対象としたツアーである。この3つが連携することによって幅広いターゲットを対象とした健康ツーリズムとなる。特に『ウェルネスの旅』は糖尿病患者対象のツアーから一般の方も対象とした健康ツアーに変わりつつあるので、ますますターゲットは拡大していると言える。
- これらの各健康ツーリズムの足並みを揃え、伊勢鳥羽志摩の観光地としての新しい付加価値とするために統一ブランド、または統一されたイメージで提供することが今後の課題となる。それによって、ノウハウを共有して各健康ツーリズムの付加価値を高めたり、広告宣伝費などの販売促進経費をシェアしたりすることが可能となる。

●地域データ●

【伊勢志摩】

- 県内一の観光地である伊勢市、鳥羽市、志摩市などからなる伊勢志摩地域は、伊勢神宮に代表される歴史・文化資源、鳥羽水族館や志摩スペイン村といった観光施設、伊勢志摩国立公園の自然環境といった豊かな観光資源を有している。こういった資源に加えて、温暖な気候と名古屋・大阪からの交通アクセスの良さも手伝って、この地域は三重県における観光の中心地域として発展してきた。また江戸時代以降の「お伊勢参り」は日本人にとって旅の原点でもあると言われ、古くから旅人を受け容れる土地としての歴史を有する地域でもある。
- 伊勢、鳥羽、志摩エリアの最も人気の高い観光施設等とその観光入込客数として、伊勢では伊勢神宮(内宮・外宮)が約629万人、志摩では志摩スペイン村が約160万人、鳥羽では鳥羽水族館が約94万人となっている(平成18年)。
- 伊勢志摩地域を訪れる観光客の宿泊地調査では、鳥羽で45%、志摩で19%、伊勢で11%を占める。

【伊勢市】

- 伊勢は元来、伊勢神宮の門前町として江戸時代から発展した都市で「神都」の異名を持つ。2005年(平成17年)11月、伊勢市・二見町・小俣町・御園村の新設合併により、現在の伊勢市が発足した。
- 総面積208.53km²、中心市街地は伊勢神宮 外宮(豊受大神宮)の周辺に形成されている。市街地外れの森に伊勢神宮 内宮(皇大神宮)が位置し、人口は134,973人(平成17年国勢調査)。
- 伊勢神宮内宮の門前町「おはらい町」にある「おかげ横丁」は、伊勢名物「赤福」が1993年に整備した複合商業施設。全43店舗が並び、江戸から明治にかけての伊勢路の代表的な建築物が移築・再現されている。昭和50年代、観光客が低迷(年間20万人)していた「おはらい町」だが、街並み整備と「おかげ横丁」の開業により、2003年には年間300万人の参拝客・観光客が訪れるようになった。

【鳥羽市】

- 鳥羽市は市域全体が伊勢志摩国立公園内の志摩半島に属し、海岸はリアス式海岸で温暖な気候に恵まれた牡蠣の養殖として有名な都市である。1977年に国際観光文化都市に指定された。人口23,067人(平成17年国勢調査)。
- 鳥羽市は、離島や自然景観、漁村集落、海女、海水浴場、真珠等の独特の地域資源や、200軒を超える宿泊施設があり、伊勢志摩地域で唯一の宿泊滞在拠点を形成し、滞在力の強化によって2006年(平成18年)の年間宿泊者数は約210万人、過去5年間で最高数となった。
- 鳥羽市は伊勢神宮参拝や鳥羽・志摩地域の景勝観光の宿泊滞在拠点としての役割を担っている。国内外の要人が宿泊する高級ホテルから学生の節約旅行にも対応する低廉な宿、また高齢者や障害者に配慮したバリアフリー対応の客室を備えた宿等、漁村集落と一体になった多種多様な宿泊施設を有する。鳥羽水族館やミキモト真珠島といった観光施設や多数の宿泊施設(216軒、収容人数18,837人)が営まれる。

【志摩市】

- 志摩市は2004年10月に5町が合併した人口60,691人(平成18年4月)の市である。市域全体が伊勢志摩国立公園に含まれ、英虞湾、的矢湾などのリアス式海岸が特徴で大小の島々も点在する自然豊かな地域である。
- 昭和に入り、リゾート開発が進められた賢島は、大型ホテルの建設、企業等の保養施設が多数設けられ、志摩地方は人気の高い観光地・保養地となった。
- 真珠養殖が盛んで、ふぐ・あわび・伊勢海老・牡蠣などの海産資源も豊富である。志摩観光ホテルなどの宿泊施設が市内随所にあり、鳥羽市と並ぶ伊勢志摩観光の宿泊地である。志摩スペイン村、合歓の郷、志摩マリンランドなどの観光施設があり、全米女子プロゴルフ協会公式戦ミズノクラシックが開催される近鉄賢島カンツリークラブなどゴルフ場も多い。